

## 一 般 質 問 通 告 表

平成29年第2回始良市議会定例会 < 6月20日(火) 午前10時 ~ >

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 堂森 忠夫	1. 各校区の少子化対策について	<p>(1) 始良市の市街地では、人口が増える市政運営の努力が実っているが、中山間校区では少子高齢化が進み、このまま放置すると衰退し、校区民の自助努力だけでは、持続可能な校区を築くことは不可能となる。</p> <p>中山間校区の少子化対策をさらに充実させて、市から家族生活補助金の支援を強化し、若者夫婦の家族が移住後も安心して暮らせる生活環境を図れないか。</p> <p>また、北山・永原・漆校区など高齢化率の高い校区を特区扱いし、少子化歯止め策の改善を時の流れに沿って校区が求める事業を図れないか。</p> <p>(2) 3世代同居は、家族が安心して暮らせる生活環境が保たれ、子どもの教育や福祉の向上に繋がる。さらに、家族が安定すると校区の社会貢献活動も強化され、校区の文化継承や自然環境の維持存続も可能となると考える。</p> <p>そこで、少子化対策として「3世代同居家族制度」を制定し、3世代同居の推進と支援を図れないか。</p> <p>(3) 戦前は10人位の大家族が多く見られ、戦後のベビーブーム世代は、日本の高度経済成長を支えた。戦前戦後の生まれは、様々な分野で社会貢献活動を実践されたが、少子化が進むと校区の若者が不足し、その社会貢献活動が途切れてしまう。</p> <p>市勢繁栄のためには、街場と中山間校区の人口バランスを調整する事が、安心して安全な校区(始良市)づくりに貢献する。</p> <p>中山間校区に「子ども沢山家族支援</p>	市 長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 合併推進債の 3地区庁舎建設に ついて</p>	<p>制度」を設けて、さらなる少子化歯止め対策に努められないか問う。</p> <p>(4) 中山間校区の豊かな自然や自然に囲まれた生活など同じ価値観を持つ国内外の方との結婚を勧め、少子化対策に取り組む考えはないか。</p> <p>例えば、ベトナムは親日派で国の平均年齢は28歳位で、日本企業での研修生が毎年増加している。市長は始良市全体の親の立場として、ベトナムの理解ある市と連携し、その市が推薦する農村地区へ出かけて、嫁入り探しの縁結び役の門を開拓できないか問う。</p> <p>(1) 2024年度までに3地区の庁舎建設に取り組んでいるが、現在の計画規模や3庁舎の施工年度と合併推進債との条件等を問う。</p> <p>(2) 新庁舎建設計画は、今後の様々な時代背景を想定しての複合施設庁舎を計画中だが、どのような内容の複合施設なのか。</p> <p>(3) 3庁舎の建物の規模からして、市内の設計事務所の組織態勢では、庁舎の設計は無理な点が多いと思うが、どのような方法で設計者を選択する考えなのか問う。</p> <p>(4) 本庁舎建設施工は大規模工事となるが、地元だけのベンチャー企業体の施工では、無理な点が多いと察する。市外大手企業との企業体組織の施工方法などが、安心・安全で質の高い施工が得られると思うが、どのように考えているかを問う。</p>	市 長
	<p>3. 在宅医療の体制 について</p>	<p>近年は在宅医療の取組みを勧めようとしているが、往診や訪問診療の利用など</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>はどのような状況か。中山間校区では往診や在宅訪問制度を活用して、弱者への市民サービスの充実を図れないか。また、市民へこの在宅医療制度の周知を図っているのか。</p>	
2. 吉村 賢一	1. 家庭教育支援行政の在り方	<p>現在、3世代同居もしくは祖父母と近い場所に暮らして、幼子の養育を加勢してもらっている家庭は、どのくらいあるだろうか。あってもごくわずかではなかろうか。子育てに不安を抱えている家庭に対して行政は何ができるのか。課題を抱えている家庭や子どもを適切に導く施策が必要になる。</p> <p>先般、子どもの貧困対策に力を入れている栃木県の小山市を視察訪問したが、これらも参考に次の質問を行う。</p> <p>(1)「三つ子の魂百まで」という言葉があるように、幼児教育は大事なものである。</p> <p>市立保育所・幼稚園では、どのような子どもに育てたいという理念を掲げているか。</p> <p>(2)「イオン夢みらい保育園あいら」には子育てコンシェルジュが配置されたが、現状はどうか。</p> <p>(3) 多様な家庭教育支援の特徴と課題として、以下について始良市として取り組んでいる状況・実績を述べよ。</p> <p>①妊娠中・0～3歳または小学生を対象とした子育てサロンについて。</p> <p>②妊娠中～就学期の親を対象とした子育てセミナー・講座について。</p> <p>③問題を抱える家庭に対する個別訪問について。</p> <p>④これから親になる世代である中高生を対象にした講座について。</p>	市 長 教育委員長

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>2. 公共交通の在り方</p>	<p>⑤リーフレット等による啓発、発行の成果について。</p> <p>⑥電話や来談での個別相談後の対応について。</p> <p>(4) 不登校児対策にはどのように取り組んでいるか。</p> <p>(5) 学校・家庭・地域連携協力体制による「家庭教育支援チーム」についてどう思うか。</p> <p>(6) S S W (スクールソーシャルワーカー) は効果的に機能しているか。</p> <p>県央の良さを活かしたまちづくりで域内の交通、隣接市との交流、県外との行き来の利便性は確保されているか。</p> <p>今回、「始良市地域交通網形成計画」が発表された。この報告と併せて今後の公共交通の在り方を問う。</p> <p>(1) 域内のバス交通網は十分検討されたか。</p> <p>①校区ごとの潜在的な需要数を予想しているか。</p> <p>②乗り継ぎはバス会社が異なることから、市が積極的に調整に乗り出す必要がある。今まで検討されたか。</p> <p>③運転手が少ないのであれば、運転手OB等の確保はできないか。</p> <p>④各校区と5駅や病院・公共施設とのアクセスは十分か。</p> <p>(2) 採算・利用率を改善するにはどのような対策を検討しているか。</p> <p>①利用時間帯の分析を時刻表にどう反映させるか。</p> <p>②利用者の近くに路線((例) 松原)やバス停の配置が考えられているか。</p> <p>③現在検討中と思うが温泉券とバス券あるいはタクシー券の助成券の併用はどうか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>(3) 鹿児島市・霧島市とはバス、JRの利便はあるが、他の隣接市とはどうか。</p> <p>①これらの都市との関係づけはどのように捉えているか。</p> <p>②JR駅のパーク&amp;ライド方式を市としても支援できる部分はないか。</p> <p>③JR駅の裏口整備の予定はどうなっているか。</p> <p>(4) 空港とのアクセスはどう考えているか。</p>	
3. 森川 和美	<p>1. 職員の働き方について</p> <p>2. 県の自転車条例について</p>	<p>政府は、企業を中心に働き方改革に取り組み、有休の取得や残業時間の短縮等に向けて協議している。</p> <p>(1) 本市の職員全般について、次のことを問う。</p> <p>①1人当たりの有休付与日数。</p> <p>②平均の有給取得日数。</p> <p>③男女別の育児休業取得者数。</p> <p>④1人当たりの時間外勤務の平均時間、最大時間、最小時間。</p> <p>⑤平成26年度から平成28年度までの定年退職者数、普通退職者数、勲奨退職者数。</p> <p>⑥平成26年度から平成28年度までの職員の分限・懲戒処分等の状況。</p> <p>⑦平成26年度から平成28年度までの公務災害、通勤災害の状況。</p> <p>(2) 職員の携帯電話の使用について規則等はあるか。</p> <p>(3) 午後3時から15分程度リフレッシュタイムを設け、ラジオ体操等を実施する考えはないか(来庁者も)。</p> <p>「かごしま県民のための自転車の安全で適正な利用に関する条例」が制定され</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 地蔵橋踏切及び山野踏切について</p>	<p>た。この条例は、自転車に関係する交通事故の防止及び被害者の保護を図り、県民が安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的としている。</p> <p>条例の主なポイントは、自転車損害賠償保険等への加入義務化と乗車用ヘルメットの着用の義務化等である。ヘルメットについては、全ての自転車利用者に着用を努力義務化し、同乗幼児へ着用させることが義務となっている。</p> <p>この条例について、市長の見解を問う。</p> <p>この条例を機会に、自転車に乗る高齢者の死亡事故等を防ぐ方策として、65歳以上を対象に自転車用ヘルメット購入費の助成をする考えはないか。</p> <p>自転車用ヘルメットは約5千円前後である。半額助成は検討しないか。</p> <p>さらに、幼児への助成も検討する考えはないか。</p> <p>両踏切については、拡幅、整備の請願が所管の委員会及び本会議でも全員一致で採択された。</p> <p>両踏切の進捗状況はどのようになっているか。</p> <p>事業費等は試算されているか。</p>	市 長
4. 東馬場 弘	1. 県の自転車条例について	<p>「かごしま県民のための自転車の安全で適正な利用に関する条例」が制定された。約半年の周知期間を経て平成29年3月24日（保険加入とヘルメット着用は10月1日）から施行されることとなったことで、以下について問う。</p> <p>(1) 条例の趣旨や規程の周知をどのように対応するか問う。</p>	市 長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 北朝鮮によるミサイル発射に備えた対応について</p>	<p>(2) 近年、歩行者との事故で自転車側に高額な賠償を命じる判決も出ている。条例で損害賠償保険の加入が義務付けられる。自転車を利用する市民はもとより、自転車通学の中学生の損害賠償保険加入が問われるが、加入状況、啓発、指導、一部助成を問う。</p> <p>(3) 夜間に自転車で塾に通っている子どもの保険加入の啓発、指導を問う。</p> <p>(4) 利用者のヘルメット着用も義務化される。啓発を問う。</p> <p>北朝鮮によるミサイル発射実験が日本に大きな脅威を与えている。県はミサイル落下に備えた避難訓練を近く実施することを4日までに決めた、と5日に新聞報道があった。</p> <p>鹿児島県は、北朝鮮によるミサイル発射に備え、避難訓練を近く実施する方針を示した。そこで、万が一の場合の本市の対応を問う。</p>	<p>市 長 教育委員長</p>
<p>5. 萩原 哲郎</p>	<p>1. 建昌城跡地の今後の用途、整備について</p>	<p>建昌城跡地は、9万7,697平方メートルととても広い敷地であり、目の前には九州縦貫道、その先には、鹿児島のシンボルでもある雄大な桜島が錦江湾に浮かぶ、素晴らしい景観を持つ場所である。スマートインターチェンジも現在工事にかかり、来年度春には供用開始の予定であり、文化財・公園・観光名所としても県外からも、今後多くの観光客の来訪が期待できる場所でもあるが、4年経過しても公園の整備が進んでいない。</p> <p>(1) 平成22年度の桜の植樹祭の時には、今後、植栽された桜等の花が咲きほこり、観光自然公園として、</p>	<p>市 長 教育委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 市内の烏帽子岳登山道の道路整備について</p>	<p>市内・市外のお客様にも利用される施設になると考えていた。国の「緊急雇用対策事業」で樹木の伐採、草刈がなされ、景観も大変よく、外回り（遊歩道）もある程度通れる状態であったが、現在は草が生い茂り、足を踏み入れられる状態ではない。今後、遊歩道整備を行い、市民が散策できるように整備を行うと聞いていたが、今日までにどのような対応がなされ、今後どのような管理対策を行っていくのか問う。</p> <p>(2) 建昌城跡地の東側6万8,528平方メートルは、今までの発掘調査が認められ、貴重な文化財として、平成23年度に鹿児島県の文化財指定を受けた。国指定を目指し、歴史や文化財を生かした史跡整備を関係部署が検討していると思うが、その後の進捗状況を問う。</p> <p>(3) 市民農園は、分譲の区画整備も終わり、現在、市民交流を活性化した農作物の栽培に利用されている。鳥獣の被害を防ぐため、周りをネットで囲っているが、アナグマ等はネットの下に穴を掘って侵入し、農作物に被害を与えている。有効な対策はないか。</p> <p>北山地区にある市内最高峰703メートルの「烏帽子岳」登山道整備に、旧始良町時代に共生協働の地域づくり支援として、駐車場整備のため、北山地区に砂利の原材料支給をした経緯があるが、その後の支援がない。</p> <p>現在も北山地区のボランティアで登山道を整備しているが、資金不足で前に進めない状況にある。</p> <p>(1) 5年前の答弁で、観光基本計画の</p>	<p>市 長</p>



氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 岩剣城と岩剣神社本通り道路整備について</p>	<p>中で検討していくという答弁があった。その後の経過について問う。</p> <p>(2) 6月に登山道の調査に行ってきた。登山道入り口から、約100メートル区間は、北山地区のボランティアで、滑らないよう木の杭を打って整備されていた。以前、登りやすいよう用意されていたロープも、5年経って跡形もなく、登るのに苦労した。</p> <p>誰でも登れるように、北山校区コミュニティ協議会と協議し、景観の良い烏帽子岳を、始良市の登山道として観光に結び付けるためには、改善が必要と思うが、今後の整備計画と資金支援について問う。</p> <p>(3) 案内板の取り替え・新設等や頂上で寛ぐ施設等は考えていないか問う。</p> <p>(1) 昨年、岩剣城に登ったが、頂上に説明看板がなく、分からずじまいであった。その後、誘導看板と説明看板は設置したのか問う。</p> <p>(2) 岩剣神社市道入口は重富方面からの進入路が鋭角で、切り替えが必要で危ない。</p> <p>以前、道路拡幅工事を依頼し、県との協議が必要とあったが、その後の経過を問う。</p> <p>また、岩剣神社本通り道路整備の状況も問う。</p>	<p>市 長 教育委員長</p>
	<p>4. サボールランドパーク始良について</p>	<p>サボールランドパーク始良西側は、イノシシの出没や、豪雨等の土砂崩れで悩みが多かったが、防護柵が整備され、8割ほど側溝への土砂の流失がなくなり、綺麗になってきた。あと残りの防護柵も年次的な設置を求める。</p> <p>最近、多くの方が健康のためにウォー</p>	<p>市 長</p>

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		<p>キング、ジョギングを楽しまれている。  しかし、アナグマやコウモリの糞が路上やトイレ等に点在し、衛生的に悪いと苦情が寄せられている。</p> <p>(1) アナグマやコウモリの糞の対策を問う。  (2) 管理員の休憩時間等勤務時間を問う。  (3) サボーランドパーク始良も23年が経過し、最近、階段や遊具等にガタが来つつある。始良市としての点検補修は年次的に行っているか問う。</p>	

